

日頃から備えよう!

ペットの防災対策

災害発生!
慌てないために

災害がおこったら、まずは自分の安全確保を。飼い主が無事でないとペットを守ることが出来ません。自宅に被害がなければ留まることも考えましょう。

避難が必要な時は、ペットと一緒に避難しましょう。これを「同行避難」と言います。災害発生時に、すぐに避難できるよう、普段から最寄りの避難場所や避難経路を確認しておきましょう。



日頃からの心がけ

健康管理としつけ

突然の災害は動物にも大きなストレスとなります。なれない避難所でペットが興奮しないよう、日頃からのしつけが大切です。予防接種や寄生虫(ノミ、ダニなど)の駆除をしっかりと行いましょう。

しつけチェックリスト

- 「待て」「お座り」などの基本的なしつけ(犬)
- ケージやキャリーバッグに嫌がらずに入る
- 不必要に吠えない(犬)
- トイレを決められた場所でする



防災用品の準備

避難所にペット専用の備蓄食料や薬はありません。ペットの防災用品を準備しておきましょう。

ペットの
防災用品

防災用品チェックリスト

- 「薬」や「療法食」
- フード&水(最低5日分を目安に)
- ケージ、キャリーバッグ、首輪、リード
- トイレ用品(シート、猫砂、新聞紙等)
- 動物の情報(写真や健康記録)
- 予備の食器、嗜好品、ガムテープ(補修等にあると便利)など



ペットの
ための

防災豆知識

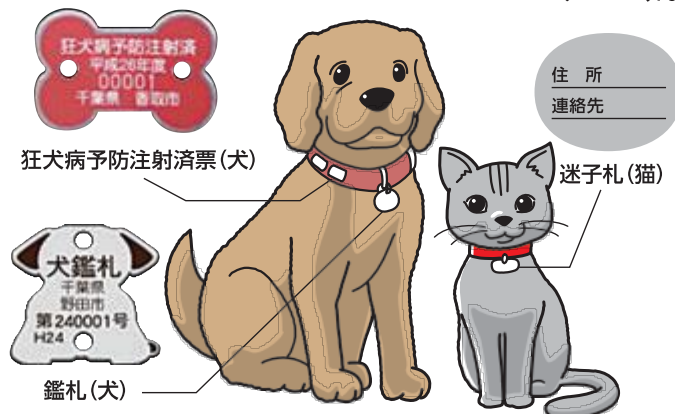


チーバくん

迷子になったときのために

身元表示

突然の災害に驚いて逃げてしまうこと、離ればなれになることもあります。首輪に鑑札(犬、義務)・狂犬病予防注射済票(犬、義務)、連絡先を書いた迷子札やマイクロチップを装着しましょう。



マイクロチップとは？

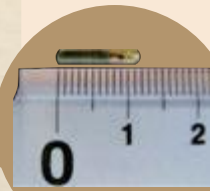
直径2mm 長さ8~12mmの円筒系のガラスのカプセルで包まれた小さな器具です。

首の後ろの皮下に専用注射器で挿入します。15桁の番号を専用リーダーで読み取ることで、データベースに登録された飼い主情報と照合できます。

リーダーは全国の動物愛護センター、保健所、動物病院などに配備されています。



リーダーによる
数字の読取



マイクロチップ

避難所でのペット飼育

避難所の居住スペースでは、原則としてペットと同居できません

避難所では動物が苦手な人やアレルギーのある人など、様々な人との共同生活となります。そのため、ペットは屋外の決まった場所でケージに入れるなどして飼育することが一般的です。

ただし、避難所ごとにペットの受入方法は異なるため、日頃から地域の防災訓練などに参加し、あらかじめ避難所のルールを確認しておきましょう。



避難所でのペットの世話について

ペットの排泄物の始末や飼育環境を清潔に保つことなど、ペットの世話は飼い主が責任をもって行いましょう。